

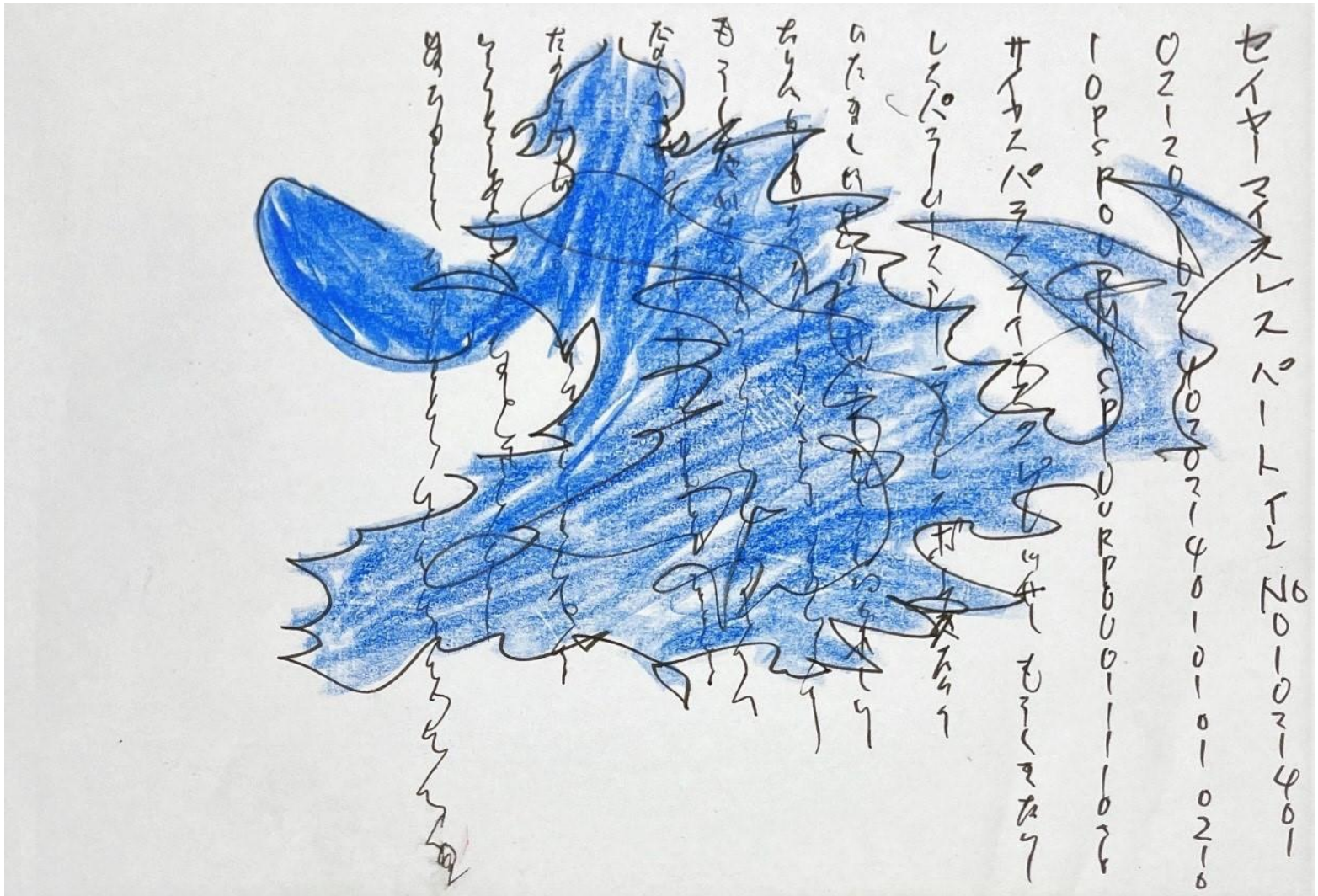


社会福祉法人蒼溪会
蒼溪通信

第16号

2021年
6月1日

ゆめ ひら
～未来を拓く社会参加を～



木々の緑が深まる季節となりました。蒼溪会も新年度になり、各事業所では新入職員を迎え、宿泊型自立訓練の新設開設等々、賑やかな日々を過ごしております。

今年度の法人戦略は「チャームング戦略～チームで創る事業所～」です。蒼溪会職員一同、魅力ある事業所創りのため、なお一層精進していきます。今年度もよろしく願い申し上げます。

ライフデザインボヤージュ 施設長 渡邊充恵

特 集

ライフデザイン ボヤージュ OPEN

宿泊型自立訓練・自立訓練（生活訓練）

蒼溪会では令和3年4月1日から、宿泊型自立訓練・自立訓練（生活訓練）「ライフデザイン ボヤージュ」を開所しました。

蒼溪会は平成19年度から県の指定管理で山梨県立あゆみの家を退院支援施設として運営してきました。平成27年度から宿泊型自立訓練と自立訓練（生活訓練）として事業変更を行ってきましたが、令和3年3月31日で県立あゆみの家の運営を終了しました。今年度からは、民設民営で「**ライフデザイン ボヤージュ**」として、運営をしていくと決めました。

蒼溪会の自立訓練（生活訓練）では、県内では初めての訪問による自立訓練サービスもしています。現在は自立生活援助も制度化して利用されている方もいますが、蒼溪会では、自立生活援助が制度化する前から、訪問による生活訓練により、退院後の一人暮らしのフォローや、在宅生活の質の向上のためサポートをしています。

宿泊型自立訓練・自立訓練（生活訓練）は2年間の期限が決められたサービスです。2年間で「ボヤージュ」で生活しながら、今後の暮らしについて考えたり、家事に挑戦したり、仲間と交流する中で生活する力をつけていきます。まずは退院のきっかけとして、地域生活での暮らしを見直すきっかけとして、是非使って頂きたいサービスです。

宿泊型自立訓練・自立訓練（生活訓練）を長年やってきたノウハウを生かし、これからも多くの方に利用して頂けるように、職員一同頑張っていきたいと思っています。



ライフデザイン
ボヤージュ

利用等の
問い合わせ先

南アルプス市
有野3273-1
TEL 055-236-8713

特 集

ライフデザイン ボヤージュ 開所式

令和3年度4月1日に利用者の方と共に、ライフデザインボヤージュの開所式を行いました。

理事長挨拶、施設長挨拶、乾杯・・・の後に午後からは『余興』を実施。「開所式に余興は聞いたことないよ！」と他事業所施設長に笑われましたが、何事も楽しむことは大切です。

新しい事業所の2階から沢山のお菓子をまいて、ワイワイみんなで拾ったり、3密を避けながら会食をしたり、とても温かい式典となりました。



(上) 理事長挨拶

「ライフデザイン ボヤージュ」のネーミング由来や、「旅人」の話がとても素敵でした。



(上) 施設長挨拶

職員とメンバーで協力して今日を迎えた想いを話しているうちに胸が熱くなってしまいました。



2階から沢山お菓子をまきました。昔懐かしい「お建前」の雰囲気です。利用者も職員もみんなで沢山お菓子を拾いました！

皆様から、多くのお祝いのお花やメッセージも頂きました。本当にありがとうございました。これからも社会的入院「0」を目指し頑張ってきます。

自主製品完成

コロナ禍でケール作業の中心であるお土産品の製造が激減して、メンバーも職員も頭を抱えていました。

そんな12月の某日、理事長とボヤージュ渡邊施設長から、宿直職員の森君夫さんとアイデア商品「簡単マグネット(仮名)」を紹介されました。

森君夫さんは幼少期から遊びながらアイデアを形にする事が好きで、仲の良い友人が発明をしている事をキッカケに本格的に携わるようになりました。発明に対する思いをお聞きすると、「自分の発明で世の中の仕事を便利にしたいという気持ちが、物作りに対する意欲の源になっています。頭にうかぶアイデアをいくつ実現させられるかを常に考えています」と笑って話してくれました。物作りに真摯に向き合う森さんは現在「山梨アイデア発明研究会」会長をされています。

そんな森さんにケールで商品を製造させていただけるようお願いすると、森さんはこころよく了承してくれました。商品の製造に関して分からないことがあれば時間を惜しまずに協力してくれます。さらに「簡単マグネット」の進化版「窓のカナリア」も開発していただき、話はトントン拍子で進みました。

1月のI♡福祉研究所さん(富士河口湖町)が企画する、イトーヨーカドー甲府昭和店で開催された就労支援事業所の合同販売会に出品販売させていただけることになりました。更に山梨日日新聞の取材まで来ていただき、新聞にも掲載されました。

販売会では、「コロナ禍での換気を見える化出来て安心」とか、「マグネットは手が不自由な子でも使えるかも」と言った感想をいただきました。コロナ禍の逆境に負けないように、これからも力を合わせて突き進んでいきたいと思えます。



山梨日日新聞取材



合同販売会



山梨日日新聞掲載記事

リーダー就任挨拶

相談支援センターカマラド
リーダー 木村良輔



当たり前のことを、
当たり前にやります。

この度、相談支援センターカマラドリーダーを拝命致しました木村です。

先日恩師に、「初めて相談できる人が居る職場で働き始めました」と近況報告をした所、「それが当たり前。でも、その当たり前の職場や環境がなかなか整っていないのも現実」と言葉が返ってきました。私自身、今までの職場では職場内で相談できる環境は無く、職場外で相談できる人を探し、日々の仕事に向き合ってきました。恩師の言葉にもあるように、【相談できる環境が当たり前】となるような事業所作りを目指していきたいと思っています。

それは法人内だけの話では無く、利用者の皆様・関係機関の皆様からの相談場所となるように、成長していきたいと考えておりますので、今後とも相談支援センターカマラドを宜しくお願い致します。

グループホーム
リーダー 森元尚紀



写真は恥ずかしいので愛ネコにしました。
がんばるにゃー

日々の暮らしの中では、喜びに浸るときもあれば、寂しさで近くに友人がいることの有り難さを感じる時、一人きりになりたい時もあるのではないのでしょうか。そんな時、近くにいる同じ障がいの苦しみを感じている仲間が存在が、さらなる次の一步を踏み出す勇気や元気の原因になることもあります。蒼溪会グループホームの利用者の皆さんも、日々そんなことを感じているのではないかなと勝手に想像しています。

普段着の飾らない日常生活を仲間と一緒に愉快地楽しく共に歩いていく、そんなグループホームを目指して利用者の皆さん、世話人の皆さんと共に取り組んでいきたいと思っています。

2021年度 蒼溪会事業計画

社会福祉法人蒼溪会は、26年目を迎えました。昨年度は本当にいろいろなことがあり、これから法人が成長していくための種がたくさんありました。理事長を中心にコアメンバーが中心となり事業計画をつくっています。各事業所が自分たちの持ち味を発揮しながら、法人ビジョン達成のために、「常に、人と地域の最幸を創造する」を求めてがんばっていきます。

2021年 法人戦略

チャージング戦略

～チームで創る事業所～

2021年 法人戦略課題

①常に確認しあえる

環境づくり

②自事業所の強みを知り、

スタンダードを確立させる

③本音が言い合える

信頼関係の構築

2021年 事業所ビジョン

就労継続支援B型 ケール

ビジョン『本物の仕事を体験できる場』

就労収益はコロナの影響をだいぶ受けました。昨年度はえごま油の商品化に成功しました。今年度は農業をさらに充実させながら、就労収益の増収に力を注いでいきます。地域の課題解決に農業というツールを使ってチャンスを広げていきます。メンバー中心で平均工賃5万円！！

就労支援センター サヴァ

ビジョン『オーダーメイドのサポートをする』

サヴァの仕事の魅力は、自分のペースにあわせて働くことができる、「もう少し働きたい」を実現できる場所です。自分の体調を考えながら、自分にあったワークライフをオーダーメイドでサポートしていきます。サヴァのうりは、「時短就労で安心の月給制」



2021年度 蒼溪会事業計画

ライフサポート ラヴィ

ビジョン『利用者が楽しいと言ってもらえる事業所づくり』

ラヴィは、精神障害者をメインに活動している生活介護事業所です。ゆったりしたお風呂と美味しい昼ごはん、そして「自由」なところがラヴィの魅力です。「利用者が楽しいと言ってもらえる事業所づくり」を目指し、職員が毎日笑顔でサポートしています。

ライフデザインボヤージュ

ビジョン『退院先として選ばれ「2年間の自己実現」に向けた支援の展開』

退院先に困ったら、最後はここでしょう。ボヤージュは「まずは受入れます」。精神科病院と地域のパイプ役として、病気になっても1番人生でがんばれる場所を目指していきます。その人の可能性と一緒に見つけ、豊かな人生の旅路のスタートできる場所になりたいと願います。ボヤージュのウリは「ダメとは言わないボヤージュ」です。

相談支援センター カマラド

ビジョン『当たり前前のことを当たり前におこなう相談支援事業所』

相談支援専門員のさらなる質の向上は、今障害者福祉で課題になっていることです。私たちは、障害者の人に会って計画つくること、記録は毎日書くこと、期限までに書類を提出するなど、当たり前前のことを当たり前でできる事業所になります。

カマラドのウリは、「迅速、丁寧、誰からも」です。

グループホーム(パウゼ、コパン、ホスタ、きただけ草、カマラド)

ビジョン『ここに暮らしたいと思える自分の家のようなほっとできる場所』

蒼溪会のグループホームは、合宿所タイプ、アパートタイプと居住空間のバリエーションを豊富に展開しています。個性的で人柄がステキな世話人さんが、朝夕メンバーのサポートをしています。グループホームのウリは「住みたいグループホームNo.1」です。

ライフスタイル ボヌール

ビジョン『毎日が楽しいと言ってもらえる事業所づくり』

ボヌールのあるメンバーは「俺は、地域で死ぬんだ！」と言って入居してきました。高齢になっても、長期に入院していても、精神障害者が地域で生活したい気持を実現します。社会的入院を解消するために、治療が終わった人たちを積極的に受け入れています。

のりさんのつぶやき



昨年度から猛威をふるっている「新型コロナウイルス」が全くおさまる気配がみられません。今の時代この先の不透明さや不確実さ、多様性といった言葉に私たちはどこか足元がぐらついてしまうことがあります。今私たちが今やっていることは、正しいのか、美しいのか、社会を良くしているのか、悩みながら毎日を過ごしています。

きっと50年後、100年後にならないとその答えは見つからないのかもしれませんが。だから、今がんばっている自分に「大丈夫だよ、心配ないよ」と声をかけながら、今この時間を大切に過ごしていきたいと感じます。

理事長 有野哲章

4月末現在 登録人数

就労支援B型事業所	定員	人数
就労継続支援B型 ケール	20	27
就労支援センター サヴァ	20	31

ライフサポート ラヴィ	定員	人数
生活介護・通所介護	20	31

グループホーム	定員	人数
グループホーム(5ヶ所)	36	36
サテライト	7	3
日中支援型GH ボヌール	20	18
ボヌール 短期	4	—

自立訓練	定員	人数
ライフデザイン ボヤージュ		
宿泊	20	15
通所	22	18
訪問	-	2

相談支援センターカマラド	件数
計画相談	268
地域移行	2
地域定着	7
自立生活援助	11

担当

有野哲章、渡邊充恵、渡辺かおる、横田優太郎、小岱誠史
名取花紗、依田朗子

問合せ

社会福祉法人 蒼溪会 ライフスタイルボヌール (法人本部)
住所：南アルプス市有野2826-1
電話：055-287-8851
担当：有野